

桂坂山の手倶楽部だより

(第49号)

平成29年11月1日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



桂坂山の手倶楽部は8月・9月・10月と最大の行事である「趣味の作品展」や「ふれあいトーク」も順調に終え、多くの来場者をお迎えすることが出来ました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝しております。これからも一層努力を重ね皆様のお役に立てるよう検討してまいります。よろしくお願いたします。

活動報告

★朝の声掛け活動 8月25日(金)～8月31日(木)の平日5日間 午前7:45～8:20

校門・主要通学路7ヵ所の交差点で防犯帽子をかぶり、子供たちに「おはようございます・行ってらっしゃい」と声掛けをして送りました。子供たちも元気な笑顔で応えてくれました。



★カザラッカコンサート～9月9日(土) 桂坂小学校体育館 (丸山洋子 記)

25th Kazarakka Concert

男声6名、女声17名の混成合唱

♪ ねむの木の子守歌

♪ サウンド・オブ・ミュージック
メドレー

指揮 永野先生
ピアノ 谷口先生



於:桂坂小学校 体育館

9月9日(土) 2:00pm～

年を重ねたメンタルハーモニーは
すばらしい月！
校庭の「萩」とステージ衣装のピンク
が相まってはんなりと…
優しく美しい日本語のひびきが
印象的でした。

★第26回文化芸能祭 9月9日(土) ウェステイにて開催

(清水 健男 記)



区内の59老人倶楽部が参加、私たちの山の手倶楽部からは6グループが日ごろ鍛えた演技や作品を披露しました。出品数の豊富さとレベルの高さでは他を圧倒しており、高い評価を得ることができました。

芸能部門出演

- ・バント演奏 軽音楽同好会「クッキーズ」
- ・のど自慢 カラオケ同好会2名
- ・コーラス コーラス同好会

作品展出品

- ・写真部門 水谷恵一代表他7名
- ・書道部門 増田靖子代表他5名
- ・絵画部門 田中紀久子代表他12名



★ペタンク同好会

すこやかクラブ西京ペタンク大会（9月12日、境谷公園グラウンド）

出場 32 チーム（桂坂 4 チーム）が 8 ブロックに分かれてリーグ戦を展開、桂坂ではAチーム（林正信さん(さくら)、小幡幸子さん(しらかば)、長谷川洋子さん(さつき))が見事ブロック優勝を果たされました。

★すこやかクラブ京都大会（9月21日(木) 京都テルサホール）

すこやかクラブ京都では毎年大会を開催し、満 90 歳と金婚の佳節を迎えられた方のお祝い、功労者、功績者等の表彰が行われています。今年桂坂からは松本正二さん（ひいらぎ）、上門俊夫さん（もみのき）が満 90 歳の、田尻幸雄・登美子ご夫婦（ひいらぎ）【写真】が金婚のお祝いを受けられました。おめでとうございます。（岡村重臣 記）

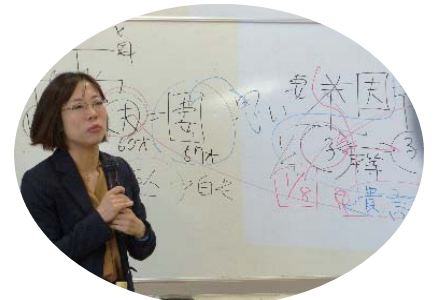


★「ふれあいトーク」講演会

桂坂山の手倶楽部の主催で「ふれあいトーク」が、9月30日（土）1時30分から桂坂小学校クローバーホールに於いて開催されました。テーマは「専門用語を使わない相続・遺言講座」で税理士の水口聡子様を迎え2時間の講演をしていただきました。西井会長の挨拶の後、講演に入り約80名の方が出席され皆様の関心の高さがうかがえました。まずは、エンディングノートの意味と書き方から始まり、トラブル事例等を詳しく説明されました。遺言の大切さがよく理解することが出来ました。そして相続の方法、認知症になった時の対処方法等、身近な問題として熱心に受講されていました。大変内容の濃い2時間でした。（下川喜久雄 記）



～相続手続き、遺言、財産、税金、後見人、どうしよう？～



★洛西ふれあいの里秋祭り

“洛西ふれあいの里秋祭り”に出店

お買い上げありがとうございます。わあ～良い物が見つかった。と、笑顔のお客さんに思わず声を掛けました。

去る10月1日（日）、ふれあいの里秋祭りに当倶楽部が模擬店で参加し、例年通り果物の販売の他、バザーで皆様より提供いただいた茶碗やお皿の陶器、おもちゃ、シャツやパンツの

肌着等々、それから洋服や着物までの家庭用品150余点を50円～1000円の価格で販売しました。当日は秋晴れで、朝から客足が途絶えることなく次々と売れ、総額28,160円となり当倶楽部の活動資金となりました。ご協力頂いた皆様ありがとうございます。（星野法子 記）



★すこやかクラブ西京 桂坂古墳の森・野鳥園見学会

すこやかクラブ西京研修委員会では、毎年会員の研修を目的に、研修会や見学会を開催しています。今回は私の住み慣れたこの桂坂の古墳の森、野鳥遊園を会員の皆様に見て頂こうと表題の見学会を企画しました。カラー刷りのパンフレットの配布やレストラン赤おにでの昼食の手配、桂坂古墳の森保存会による案内説明、我が山の手倶楽部による道案内などきめ細かな取り組みを行った結果、多くの方（108名）にご参加い

ただき成功裏に終えることが出来ました。ご協力いただいた方には深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

（すこやかクラブ西京 理事兼研修委員会委員長 林 正信 記）



★ボウリング同好会

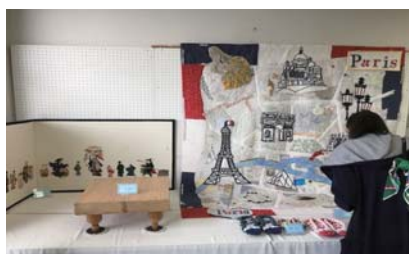
すこやかクラブ西京ボウリング大会（10月16日、京都エミナースポウル）

出場57名（女性の部17名、男性の部40名）による競技が行われ、桂坂勢（女性3名、男性7名）では女性の部で津崎宏美さん（あかしあ）が優勝、男性の部では内藤邦昭さん（かえで）が2位と健闘されました。

★第24回趣味の作品展 10月19日（木）～20日（金） 京都中央信金桂坂支店2階ホール

今回は3同好会から72点の作品が出展された他、同好会以外の一般会員から48点と非常に多くの作品が出品されました。年配者の作品展とは思えない明るく若々しい作品が多く、来訪者からは「年々ハルが上がっているなあ・・・」との声が多く聞かれました。台風前の足元の悪い天候にも関わらず、2日間で会員が129名、一般が114名 計243名と多数の方々に鑑賞いただきました。

出品者の皆さんや、会場の準備にご協力いただいた役員の皆様ありがとうございました。（清水健男 記）



豊かな色あせぬかがやき



～ただよう文化の香り～



行事等のお知らせ

◆同好会の活動予定

○グラウンド・ゴルフ同好会

すこやかクラブ西京親睦グラウンド・ゴルフ大会（11月16日 嵐山東公園）に13名出場

○軽音楽同好会

西京区民ふれあいまつり（11月18日（土）ウエスティー）にクッキーズ出演

○カラオケ同好会

すこやかクラブ西京カラオケの集い（11月29日（水）京都エミナース）に4名出演

○書道、写真、絵画同好会

市民すこやかフェアに作品出展（1月29日（月）～31日（水）みやこメッセ）【今回は1月に変更】

○映画鑑賞同好会

忘年昼食映画会（12月13日（水）赤おに）開催予定

◆平成30年 新年互礼会 1月9日（火） 京都エミナース

開催のご案内は12月初旬に配布予定

◆朝の声掛け活動 1月9日（火）～15日（月）

校門他主要通学路7地点で活動実施

かたらい広場

『桂坂の生い立ちを思う・・・』

緑しずかな街並みが今日もあかるい。
歩みに ふと桂坂の恩人 堤氏を思う。
彼はまた、ペンネームを通じて「人の生き方論」
を多く著述された。その一冊「虹と岬」は、
あの川田順の老いらくの恋を称えての小説化

である。この筆を執るころ、桂坂の開発が
始められていた。多くの夢と信念を秘めて
この原野を徘徊したことであろう。その心が
開発に重ねられ、筆に託されたのであろう。



～桂坂(くすのき)の翁～

腰痛の癒えし体に秋の風
いざ生きめやも爽やかき季（とき）

うつせみの吾れにしあれば残る道
多くを学びて幸を求めん

灯（ともしび）戻りぬ春日の吾が命
妻子らに見守られつゝの吾が命

「短歌く病を越えて」

西川 三郎 作

ある会員からの提言

今年も余すところ2ヶ月となりました。毎年この時期になると、郵便局の年賀はがきの宣伝が始まります。我々の倶楽部でも、会員同士でかなりの年賀状交換が行われているようです。確かに遠く離れた知り合い同士であれば、正月位はお互いに無事を喜び合う意味で年賀状のやり取りをされると思います。

しかし、我々会員同士は同じ桂坂に住んでいて普段からお付き合いがあり、正月明けには互礼会も開催されることですので、この際、会員同士の年賀状のやり取りをしないようにしては如何でしょうか。虚礼廃止の時代でもありますので、ご賛同される方はこの正月から実行されますよう提言します。

会員の状況

(1) 新しく会員になられた方（平成29年8月以降）

お名前	自治会	同好会
あおやま かつよ 青山 加津代さん	はなみずき	コーラス

(2) 退会された方（同8月以降）

宮川 喬さん（はなみずき） 9月7日に逝去されました。ご冥福をお祈りします。
大西 陽子さん（かえで）、小松 久夫さん（くすのき）、井上 清之助さん（同）以上の皆様が退会されました。

(3) 会員数の状況（同10月25日現在）

会員数 261名 本年度入会者数 9名、同退会者数 12名

～～編集後記～～

今年最後の「倶楽部だより」をお届けします。
今回は、10月に多くの行事が重なり、皆様方の負担も大変だったと思います。
特に、「洛西ふれあいの里秋祭り」では、販売やバザーやらと、かかわった皆様、大変お疲れ様でした。
又、ふれあいトークの講演会には、多くの方が参加され、ためになるお話を伺うことができました。
私は、倶楽部だよりの編集は、初めての事で、四苦八苦しました。ご協力を頂いた皆様深く感謝します。
今後とも、編集委員会をよろしくお願ひします。 下川 喜久雄